



「羅針盤」保護者版

本渡中学校3Fにある「学校事務センターって何???

本渡中学校3Fに「天草市中央学校事務センター」が設置されています。現在12年目を迎えています。うれしいことに、天草市では昨年4月に新たに3つの学校事務センターが誕生して現在4つの学校事務センターがあります。

学校事務センターの強みは、1つの学校だけでは対応しきれない事業の経費・事務的な課題を地区内すべての学校でカバーしあえるという点があります。1校では難しい事務課題も、複数校で対応すれば解決できるケースが増えてきます。ここは本渡中校区・五和中校区小中学校の大きな事務室なのです。（天草市中央学校事務センター：本渡中校区5校、五和中校区2校）

「学校事務職員は財務のプロフェッショナルです」

「経済」の意味ってご存じでしょうか？

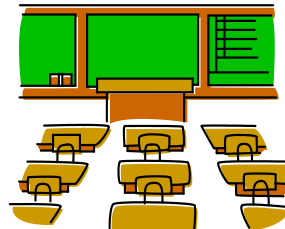
経済の語源は古代中国の言葉「経国済民」～国を治め民を救済する～といわれています。（諸説あります・・・）私たちの仕事は財政面で学校を治め、子供達を支援する仕事です。

学校には様々なお金が存在します。すべてが保護者・市民の方からお預かりした大切なお金です。一銭たりとも無駄にせず、子供達の教育向上のために日々考えて使わせていただきます。

（例）公平公正な予算執行（だれでもどこでも平等に）

保護者負担の軽減の視点（ムダをなくす）

購入したものの活用状況とその効果を検証



「教育環境は人を育てる」～事務室雑感①～

学校施設は新しいに越したことはありません。しかし、それがすべて良いとは限りません。歴史や伝統・風格というものを感じさせる学校があります。たとえ校舎が古くても、その中で先輩方から引き継いだ物や教室を大切に使うことで「心の教育」ができるし、また「環境教育」にもつながっていくと思います。

日々の掃除、古い教室を少しでもきれいにしようと一緒に雑巾がけをする子供の姿を見るとジーンと感動を覚えます。その子は、きっとこの素晴らしい体験を通じて立派な大人に成長してくれることでしょう。そしてその姿が良き伝統になっていくのです。

「三方よし」

企業には経営理念・企業倫理というものが存在します。目先の利益を上げることだけが目標ではなく、事業を通じてどのように社会に貢献していくのかをうたっているものが多いようです。「三方よし」とは「売り手よし、買い手よし、世間よし」の精神です。特に「世間よし」とは社会への貢献であり、これからの時代に生き残るため最も必要とされる部分ではないでしょうか？AIやロボットの力も大切ですが、いつの時代も最後は人間力（心）が問われます。



「エシカル消費」事務室雑感②

この言葉をメディア等で聞いたことがあると思います。例えば同じような品物を買う場合、3,000円のもの、1,500円のものがあるとします。当然、安い方を選びますよね。でも、ちょっと待って下さい！何でそんなに安いのでしょうか？もしかしたら、海外で子供達を不当な賃金で働かせているとしたらどうでしょう。

人や社会、地球環境などに配慮して作られたものを購入することを「エシカル消費」といいます。私たち消費者がそのような意識を持って行動することにより企業や社会は変わっていきます。

学校では物品を選ぶ場合、環境に配慮したものか、適正な価格といえるかどうか見極めて購入をしています。

「米百俵の精神」より

以前、幕末ブームで大河ドラマをご覧になった方は多いと思います。当時の戊辰戦争では長岡藩（新潟県長岡市）は壊滅的な被害を受けました。その後復興を果たすために、小林虎三郎は「学校創設による人材育成こそが敗戦国の復興にとって重要である」の考えのもと、国漢学校の前身を発足させました。長岡藩の窮状を察して近隣の三根山藩から米百俵が贈られ、それを元手に学校を開校したそうです。

教育には多額の資金が必要ですが、子供達が近い将来、日本や世界を支え切り拓いていくための先行投資であると言えます。



就学援助制度とは

経済的な理由によって、小中学校に子を就学させることが困難と認められた保護者に対し、天草市が就学に必要な費用を援助することにより、円滑に義務教育を受けていただくための、学校教育法に基づいた制度です。

援助を受けることができるのは天草市に住所を有し、小中学校に在学する児童又は生徒の保護者で、教育委員会が定めた基準に該当する方です。

詳しい内容をお聞きになりたい方は、それぞれの学校の事務担当者までおたずねください。

学校事務センター長のニコニコ☺コラム



「遠回りこそ最短の道」

2026年がスタートしました。今の時代スピード勝負とよく言われます。確かに困ったときはAIがすぐに答えを出してくれます。でも、それによって失われるものはないのでしょうか？以前は、困難が訪れるたびに悩み・苦労する体験をしてきました。それを自力で解決することで、自分の成長につながっていました。

面倒かもしれませんが、自分の足で赴き、自分の目と耳で確認し、自分の手で書き記すことは今の時代でも大切なことだと思います。

天草市中央学校事務センター長（本渡中学校審議員） 前田和美

